

大会規則

1. 本大会は2009全日本軟式野球連盟公認野球規則を適用する。
2. 試合は、
 - ①試合は7回戦または試合時間1時間30分とする。
 - ②5回終了後、得点差(7点差)および降雨等によるコールドゲーム適用あり。
優勝戦は適用しない、7回ゲームとする。
 - ③試合終了後、同点の場合の取り扱いはa b cの順にする
 - a 延長戦は行わない。
 - b 試合終了時、同点の場合は試合時間に関係なく『特別延長ルール』を適用する。
(但し、2イニングを限度とする。)
 - c 『特別 延長ルール』を適用し、なおも、同点の場合は『抽選カード』にて勝敗を決する。
『抽選カード』は各球場本部席で用意します。
 - ④その他、別紙大会規則を適用し、2009年度全日本軟式野球連盟公認野球規則を適用する。
3. 【コールドゲーム】 5回終了後の回で、得点差が7点以上ある場合、及び雨天等により試合続行不能となった時には、コールドゲームを適用する。ただし、決勝戦は除く。
4. 【特別延長ルール】 7回、または試合時間(1時間30分)終了時、得点差がない時は2イニングを限度として、特別延長ルールを適用し勝敗を決する。
* 継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者、その前の打者を三塁走者として、無死満塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。
なお、勝敗が決しない場合は、抽選により勝敗を決する。『抽選カード』は各務原市で用意します。
5. 投本間および塁間は次のとおりとする。
投本間……16.00m 塁間……23.00m
外野はフリーとする。
6. 野球規則によるアピール権者は監督・キャプテンとする。
7. 選手、監督(30)、コーチ(29、28)以外でベンチに入ることができる者は、代表者、マネージャー、スコアラー各1名とする。(選手以外で6名のみ)選手は20名以内とする。
8. 集合時間は当該試合開始時間の30分前とする。30分前に各試合球場にてキャプテンがジャンケンで先攻・後攻を決める。この時、打順表3枚を提出する。監督が立会い当日の注意事項を審判から説明する。
※打順表(市民球場4枚、他の球場3枚)、大会球は主催者が用意します。
9. 試合前のノックは、当日の第一試合開始前の5分間のみ
10. ベンチは抽選時の若番が一塁側とする。
11. キャッチャーは必ず公認マスク、ヘルメット、プロテクター、レガースを使用すること。
12. 靴は少年野球用スパイク(裏がゴム)、または運動靴を使用すること。
13. バットは公認(JSBB)マーク入りを使用する。
14. マスコットバットの代用として、素振りリング、鉄棒等の使用は勿論、球場内に持ち込むも禁止する。
15. 監督、コーチは試合中原則として、グラウンド内に入ってはならない。但し、監督に限っては、選手の交替を球審に通告する時、アピールを行う時、及び選手との打ち合わせの時は除外する。
・タイム中、監督がフィールド内に入ることができるのは、1イニング2回までとする。
2回目以降は選手交代時とする。
・選手がタイムをとってマウンドに集まるのは、1試合3回までとする。
16. 選手・監督・コーチは同一のユニフォーム、靴を着用する。背番号は監督30番・コーチ29番・28番(1名の時は29番のみ)、主将は10番、選手は0番から27番を付けること。
17. 試合に先立ち両軍の選手がホームプレート前にて挨拶する時には、両軍のベンチに入っている者は、全員起立して選手と一緒に挨拶をする。
18. ベンチ内での喫煙は認めない。試合中のベンチ内の携帯電話の使用は認めない、この規定に違反する場合は、審判が退場を命ずることがある。
19. 球場内での特別規則は、大会役員と担当審判員が協議して決める。

《附則》

1. 7回ゲーム(1時間30分)の試合において、1時間30分の時間を経過して新しいイニングには入らない。
2. 試合時間の開始は、選手の挨拶時から起算する。
3. 投手の試球は、初回は7球とし、2回以降は3球とする。継投時と同じ。